多摩川河口干潟でみられる生きもの

★県内絶滅危惧種…神奈川県内で絶滅のおそれのあるもの

エビ・カニ

◀甲幅3cm▶

アシハラガニ

干潟の開けたところやヨシ原に多く生息する。灰緑色の甲で、群れをなして生活する。雑食性で、チゴガニなど他のカニ類を食べることもある。

◀甲幅4cm▶

クロベンケイガニ

全体が黒紫色で甲が4つのこぶのようにもり上がり、あしに長い毛が生えている。ヨシ原や日当りが悪く淡水が流れ込む泥の多い場所に巣穴を作って暮らしている。

◀甲幅3cm▶

ヤマトオサガニ

甲らは少し横に長い。干潟のひらけたところの泥底に多く生息する。はさみが長いL字型をしている。長い目だけを潜水艦の潜望鏡のように出している。

◀甲幅0.7cm▶

チゴガニ

体が小さいので目立たないがダンスを始めると白いはさみがいっせいに振られるので、すぐ発見できる。ダンスをするのは、はさみの大きいオスだけ。

◀甲幅2.5cm▶

ケフサイソガニ

岩、護岸のすきまや石の下、海藻の下などの潮だまりに生息している。オスのはさみに毛がはえているのが特徴で、そこから名がついている。

◀甲幅1cm▶

コメツキガニ

体が小さく集団で住む。潮が引くと砂の中から出てきて、いっせいに表面の砂をはさみでつまんで口に運び藻類を食べて、残りを砂ダンゴとして干潟に置く。

◀甲幅3cm▶

アカテガニ

陸地を好んで住み、木に登るカニ。赤くベンケイガニに似るが、目の下の前側縁に歯がなく、緩やかなカーブで見分けがつく。

◀甲幅4cm▶

ベンケイガニ

干潟のアシ原を中心に暮らすカニ。赤くアカテガニに似るが、目の下の前側縁に歯があることで見分けがつく。

◀甲幅3cm▶

カクベンケイガニ

干潟の岩礁やアシ原の穴を好んで暮らす。フタバカクガニとは目の下の前側縁に歯がないことで見分けがつく。

◀甲幅1.5cm▶

マメコブシガニ

あめ玉に小さな目玉と手足をつけたようなカニ。干潟に暮らすが、水がなくなるのが苦手で、潮だまりや浅い水の流れなどの中にいる。

◀殻長1～3cm▶

フジツボ

世界中の海洋にかけて生息している。淡水に生息する種は存在しない。岩や船底、他の動植物などにはりついて生活をし、全く移動しない。

◀体長2cm▶

ニホンドロソコエビ

汽水域にすむ。雄の方が大きく、体長 2cm 以上になる。他のヨコエビ類とは異なり、雄の第一咬脚は大きくなり、腕節に大きな歯がある。

貝の仲間

◀殻長3～6cm▶

ムラサキイガイ

殻はうすく大きく長だ円形。ふくらみは弱く、前後とも開いている。外面は紫色であり、なめらかな光沢のあるわら色の殻皮。★外来種

◀殻長5～8cm▶

マガキ

食用のカキの大部分は養殖されているが、天然では海水と淡水のまざった汽水域である河口部のれき、転石やコンクリートなどに、はりついて生息する。

◀殻長1～2cm▶

ヤマトシジミ

海水と淡水の混ざった汽水域にすむ、もっとも知られたシジミ。殻の頭部は高くなっており、成長すると黒くうるしを塗ったようにみえる。

◀殻長1～5cm▶

オキシジミ

シジミと名前はついているが、ヤマトシジミなどのシジミ科ではなく、アサリの仲間。殻は5cmぐらいで、ふくらみも強く、まん丸な二枚貝。

◀殻長4cm▶

ソトオリガイ

泥干潟に深くもぐり、細長く薄い殻は、オレンジ色の殻皮にふち取られている。殻を閉じても完全には閉まらず、前後にすき間ができる。

◀体長0.6cm▶

カワザンショウガイ

河口のアシ原の泥の上などに群がっている小さな巻貝。殻は卵円錐形、黄褐色地に赤みがかったすじが最大4本ある。ややビロード状の殻皮で覆われる

魚

◀13～25cm▶

マハゼ

体は淡褐色で細かい模様が並ぶ。2つの背びれと尾びれにはっきりとした模様がある。汽水域や川の下流の砂底にすむ。

◀60cm▶

ボラ

頭がやや平たく、うろこはややかたくて大きめ。イナ、ボラ、トドなどと大きさにより呼び名が変わる出世魚。汽水域や川の下流部に入り込む。

◀30～100cm▶

スズキ

口は大きく、下あごが突き出ている。えらぶたにとげがあり、うろこがかたい。出世魚でセイゴ、フッコ、30cm以上をスズキという。

◀6～15cm▶

ヌマチチブ

川の下流域、汽水域に生息する。胸ひれのつけ根に黄色の帯がある。雑食性で付着藻類もよく食べる。

◀8～10cm▶

トビハゼ

干潟の泥質に巣穴を掘って生息する。干潮時には巣穴から出て泥の中を飛び跳ねてえさを探す。えら呼吸と皮ふ呼吸のできる水中がきらいな魚。★県内絶滅危惧種

ゴカイの仲間

◀体長5～12cm▶

ゴカイ類

口には2個のかまのような大きなあごがあり、これを口からだしてえさをつかまえ、飲みこむ。ゴカイ科の種類は40種ほどで、魚のつりえさとして人気がある。